

No	136	事務事業評価票		所管部長等名	教育部長 北岡 博		
評価対象年度		平成23年度		所管課・係名	教育サポートセンター		
				課長名	太田家 伸二		
(Plan) 事務事業の計画							
事務事業名	科学発明展経費			「主たる事業の執行状況調」における件名又は事業名			
会計区分	一般会計						
予算の事業名	科学発明展経費						
事業コード(大-中-小)	40	—	01	—	20	—	—
施策の体系 (八代市総合計画の実施計画における位置づけ)	基本目標(章)	第2章 郷土を拓く人を育むまち					
	施策の大綱(節)【政策】	①八代の未来を担うひとづくり					
	施策の展開(項)【施策】	①「生きる力」を身につけた子どもの育成					
	具体的な施策と内容	(2)教育研究の充実					
根拠法令、要綱等							
実施手法 (該当欄を●)	○ 全部直営 ○ 一部委託			○ 全部委託		法令による実施義務 (該当欄を●)	○ 義務である ● 義務ではない
事業期間	開始年度	合併前		終了年度	未定		

(Do) 事務事業の実施							
事務事業の概要	目的	対象(誰・何を)	成果目標(どのような効果をもたらしたいのか)				
	内容 (手段、手法等)	<p>八代市立小・中、特別支援学校の児童生徒、教職員</p> <p>科学探究への取組を通して児童生徒及び教職員の科学的なものの見方、考え方、問題のとらえ方、処理の方法等の技能を高めるとともに、募集した科学研究物を展示することにより、科学に対する興味・関心を喚起、啓発する。</p> <p>①児童生徒に科学研究と発明工夫品の作成に取り組んでもらい、教職員には科学研究に加え、自作理科教材に取り組んでもらった。 ②学校規模に応じて示した出品基準数に基づいて科学展へ出品をしてもらった。 ③理科を専門とする教職員による審査会で入賞作品を選定し、表彰を行った。(上位入賞作品は八代地区科学展後に県の科学展へ出品) ④平成23年10月8日(土)、9日(日)にやつしろハーモニーホールで一般に公開した。 ※本事業は氷川町と共催で行っている。</p>					
事業開始時点からこれまでの状況変化等	事業開始当時は八代市単独で行っていたが、平成17年の市町村合併から氷川町と共催で開催している。また、県立八代中学校が創立されてからは募集対象校に加えている。						

コスト・成果指標の推移									
コスト	総事業費	単位	22年度決算	23年度決算	24年度予算	25年度見込	26年度見込	27年度見込	
	事業費(直接経費)	千円	3,025	2,998	3,024	3,024	3,024	3,024	
	財源内訳	国・県支出金	千円						
		使用料・手数料	千円						
		市債	千円						
		その他()	千円	20	20	20	20	20	20
	一般財源	千円	205	178	204	204	204	204	
	概算人件費(正規職員)	千円	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	
正規職員	従事者数	人	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	
臨時職員等従事者数	人								

成果指標 (もたらそうとする効果の数値化)	指標名	指標設定の考え方	単位	22年度実績	23年度実績	24年度見込	25年度計画	26年度計画	27年度計画
	① 科学展出品数	科学展への作品の出品数が科学研究に係る技能の向上や科学への興味・関心の高まりを示すと考えられることから指標として設定した。	点	148	158	147	147	147	147
	② 科学展来場者数	科学展に来場した児童生徒、教職員等の人数が科学に関する興味・関心の高さを示すと考えられることから指標として設定した。	人	508	676	690	700	710	720
〈記述欄〉※数値化できない場合									

(Check) 事務事業の自己評価

事業実施の 妥当性	①	【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結び つきますか	A 結びつく B 一部結びつく C 結びつかない	A A	(現状分析等) 本事業を通して、科学的なものの見方、考え方、問題のとらえ方、処 理の方法、科学に関する興味・関心などが育まれることから、実施す る妥当性が高い。また、県科学展につながる地区大会としての位置 づけで氷川町と共催で実施していることから、市が主体となって取り 組む事業として妥当である。
	②	【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化によ り、事業の役割が薄れていませんか	A 薄れていない B 少し薄れている C 薄れている	A A	
	③	【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当 ですか(国・県・民間と競合していませ んか)	A 妥当である B あまり妥当でない C 妥当でない	A A	
活動内容の 有効性	①	【事業の達成状況】 成果目標の達成状況は順調に推移し ていますか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	B B	(現状分析等) 科学展来場者数は平成22年度の508人から平成23年度の676人と 増加しているものの、県展の入賞率に落ち込み(50%→25%)があっ た。研究物の作品としてのレベルアップを図るための方策を検討す る余地がある。
	②	【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を見 直す余地はありますか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	B B	
実施方法の 効率性	①	【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入な どにより、成果を下げずにコストを削 減することは可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A A	(現状分析等) 本事業は学校教育活動を基盤としているため、教育委員会が運営 主体である必要がある。また、県展への出品スケジュールなどとの 関連で開催期日に独自の制約があるため、他事業との統合・連携は 困難である。
	②	【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業と の統合・連携によりコストの削減は可 能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A A	
	③	【人件費の見直し】 非常勤職員等による対応その他の方 法により、人件費の削減は可能です か	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A A	
	④	【受益者負担の適正化】 受益者負担に見直しの余地はありま すか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃 止)	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A A	

(Action) 事務事業の方向性と改革改善

今後の方向性 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 不要(廃止) <input type="radio"/> 民間実施 <input type="radio"/> 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) <input checked="" type="radio"/> 市による実施(要改善) <input type="radio"/> 市による実施(現行どおり) <input type="radio"/> 市による実施(規模拡充)	(今後の方向性の理由) 氷川町との共催で運営する事業であり、八代の未来を担う人づくりのひとつとして市が主体と なって進めていく必要がある。

改革改善内容	今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果		改革改善による期待成果																						
	科学展への取組を活性化させるとともに、研究内容のレベルを向上させるために教育サ ポートセミナーに科学研究セミナーを設け、要請に応じて学校を訪問しアドバイスを行うよう にする。また、来場者数を増やすための広報活動を積極的に推進する。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td align="center">○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下		
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								

外部評価の実施	無	実施年度	
---------	---	------	--

決算審査特別 委員会における 意見等	(委員からの意見等)
--------------------------	------------